

「高等学校 数学Ⅲ 教授資料」（数Ⅲ309）訂正のお願い

常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、大変恐縮に存じますが、本書に下記の誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに訂正内容についてご報告させていただきます。

誠に恐れ入りますが、ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

不備を残しまして、ご迷惑をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

(教授資料 本冊)

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
53	教科書縮刷り 教科書9行目	<u>r'</u> に移るとすると	<u>r'</u> に移るとすると
212	章末問題2(1) の解答	二項定理により $2^n = (1+1)^n$ $= {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 + {}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n$ ${}_n C_r > 0$ であるから ${}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n \geq 0$ よって $2^n \geq {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 = 1 + n + \frac{n(n-1)}{2}$	[1] <u>$n=1$ のとき</u> $\text{左辺} = 2^1 = 2$ $\text{右辺} = 1 + 1 + 0 = 2$ よって、 <u>$n=1$ のとき、不等式が成り立つ。</u> [2] <u>$n \geq 2$ のとき</u> 二項定理により $2^n = (1+1)^n$ $= {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 + {}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n$ ${}_n C_r > 0$ であるから ${}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n \geq 0$ よって $2^n \geq {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 = 1 + n + \frac{n(n-1)}{2}$ したがって、 <u>$n \geq 2$ のとき、不等式が成り立つ。</u> [1], [2] から、すべての自然数 n について不等式が成り立つ。
341	左段 10行目	区間 $[1, 2]$ において <u>$\frac{1}{x} > 0$</u>	区間 $[1, 2]$ において <u>$x > 0$</u>

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
348	練習2(3)の 解答	n が偶数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{(n-2)-1}{n-2} \cdots I_4 \cdot I_2 \cdot I_0$ $= \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2}$ n が奇数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{(n-2)-1}{n-2} \cdots I_5 \cdot I_3 \cdot I_1$ $= \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} \cdot 1$	n が偶数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2}$ n が奇数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} \cdot 1$
435	研究練習2(3) の解答	よって, n が偶数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{(n-2)-1}{n-2} \cdots I_4 \cdot I_2 \cdot I_0$ すなわち $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2}$ また, n が奇数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{(n-2)-1}{n-2} \cdots I_5 \cdot I_3 \cdot I_1$ すなわち $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} \cdot 1$	よって, n が偶数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2}$ また, n が奇数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} \cdot 1$

※お持ちの刷では, 上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
17	教科書縮刷り 教科書9行目	<u>r'</u> に移るとすると	<u>r'</u> に移るとすると
巻末 15	章末問題2(1) の解答	<p>二項定理により</p> $2^n = (1+1)^n$ $= {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 + {}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n$ <p>${}_n C_r > 0$ であるから</p> ${}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n \geq 0$ <p>よって</p> $2^n \geq {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 = 1 + n + \frac{n(n-1)}{2}$	<p>[1] $n=1$ のとき</p> $\underline{\text{左辺} = 2^1 = 2}$ $\underline{\text{右辺} = 1 + 1 + 0 = 2}$ <p>よって、$n=1$ のとき、不等式が成り立つ。</p> <p>[2] $n \geq 2$ のとき</p> <p>二項定理により</p> $2^n = (1+1)^n$ $= {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 + {}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n$ <p>${}_n C_r > 0$ であるから</p> ${}_n C_3 + \cdots + {}_n C_n \geq 0$ <p>よって</p> $2^n \geq {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 = 1 + n + \frac{n(n-1)}{2}$ <p>したがって、$n \geq 2$ のとき、不等式が成り立つ。</p> <p>[1], [2] から、すべての自然数 n について不等式が成り立つ。</p>

訂正箇所	原文	訂正文
218頁 練習2(3)の 解答(朱字)	<p>n が偶数のとき</p> $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{(n-2)-1}{n-2} \cdots \cdots I_4 \cdot I_2 \cdot I_0 = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \cdots \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2}$ <p>n が奇数のとき</p> $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{(n-2)-1}{n-2} \cdots \cdots I_5 \cdot I_3 \cdot I_1 = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \cdots \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} \cdot 1$	
	<p>n が偶数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \cdots \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2}$</p> <p>$n$ が奇数のとき $I_n = \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdots \cdots \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} \cdot 1$</p>	

(標準テスト)

訂正箇所	原文
実力テスト1 複素数平面(1) 裏面 3 解答	したがって、 m を <u>自然数</u> とするとき $n = 3m$ のとき 2 , $n = 3m + 1, 3m + 2$ のとき -1
	訂正文
	したがって、 m を <u>正の整数</u> とするとき <u>$n = 3m - 2, 3m - 1$ のとき -1, $n = 3m$ のとき 2</u>

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

以上